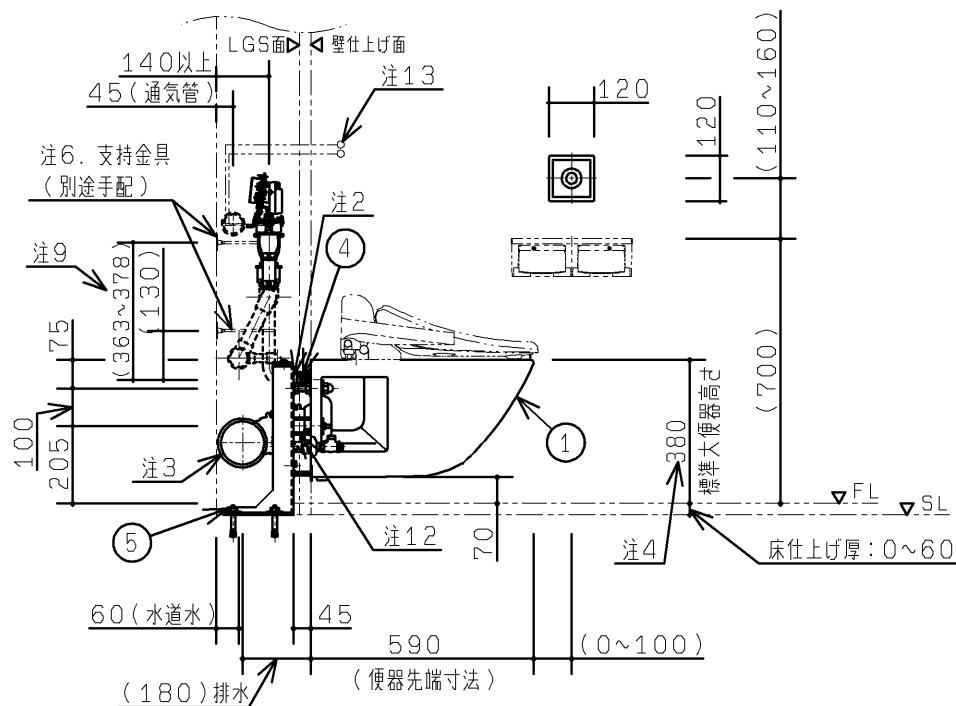


20・紙巻器、背のたかな

※詳細につきましては、取扱説明書を参照してください。



床コンクリート仕様	圧縮強度 20.6MPa以上、鉄筋のかぶり厚50mm以上 養生期間 28日以上（アンカー施工時） ベースプレートの周囲40mmの範囲は開口や欠損禁止
パイプスペースの奥行き寸法	壁厚（30mm以内）を含め250mm以上
壁仕上り厚調整範囲	30mm以内（下地の耐力合板を含む）
床仕上り厚調整範囲	60mm以内（標準取付け高さの場合）、便器高さUP寸法＋仕上り厚：60mm以内

便器裏開口形状：スタンド同梱の型紙を利用ください

丸穴開口とする場合、右図を参考に所定位置に所定径の穴（５個）を加工してください

109

131

53

122

100

125

120

120

$\phi 80 \pm 2$

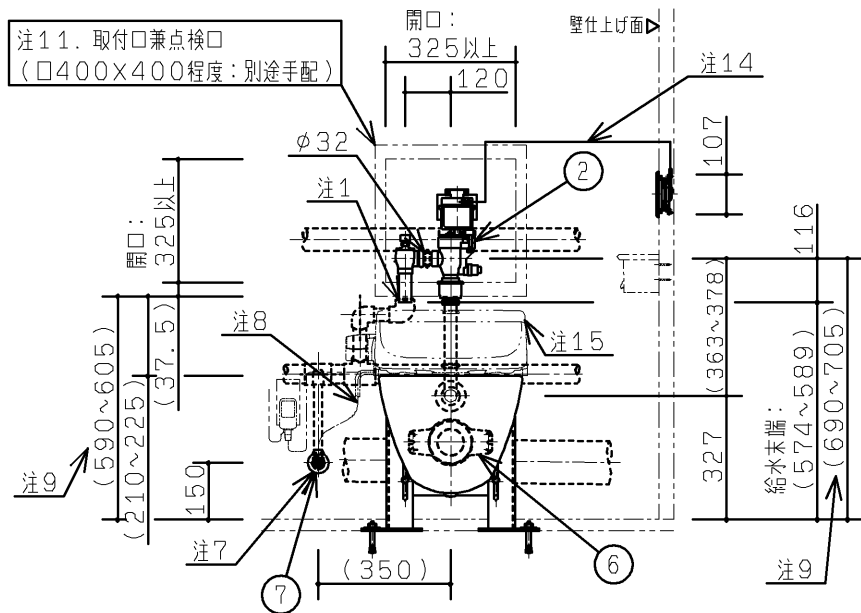
$\phi 60 \pm 5$

型紙指示外形

便器外形

$\phi 130 \pm 5$

$\phi 30 \pm 1$



※施工及び建築条件等は、各器具の施工説明書をご確認ください。
※商品（図面）は諸般の事情により、予告なく改良・仕様変更などを行う場合があります。

下記、工事区分目安です。現場にて事前に工事区分の確認をしてください。

注1：ねじサイズ R1 管端防食継手（給水専用）で設備配管と接合ください。

注2：洗浄管：φ31. 75（自動フラッシュバルブに含まれます）

注3：排水は末端の呼び径100で準備ください。

注4：便器取付高さは用途に応じて、370～440の範囲で設定が可能です。
（SL～FL＝0の場合）

注5：配管の立ち上げは、床開口禁止範囲
（壁掛大便器取付スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）
を避けた位置から取り出してください。

注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから
支持を必ず取ってください。

参考：カクダイ（品番：2211・2216）相当品

注7：給水専用止水栓 ねじサイズR1/2（温水洗浄便座を使用する場合）

注8：フレキホース長さ 0.95m（温水洗浄便座を使用する場合）

注9：自動フラッシュバルブ設置高さと点検口取付高さは表記の範囲で
連動して設定してください。

注10：パイプスペースの奥行き寸法は、洗浄管の接続可能範囲内で
設計してください。接続可能範囲については、「設備工事（横引配管）
（2/3）」図面を参照してください。

注：本大便器は、フラッシュバルブ専用です。

注：壁掛大便器取付スタンドは下地補強なしで
施工できる本便器専用の取付スタンドです。

施工に当っては、UTR855系の製品図面と施工説明書をご参照ください。

注：排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。

注：給水には最低必要水压（流動時）0.07MPaを確保してください。
（最高水压（静止時）0.75MPa）

注：FV用の給水管径は25A以上としてください。

温水洗浄便座用の給水管径は15A以上としてください。

注：給水スパッド締付けの作業性向上が図れる専用工具も用意しております。
必要に応じて別途手配ください。（品番：UTR900S）

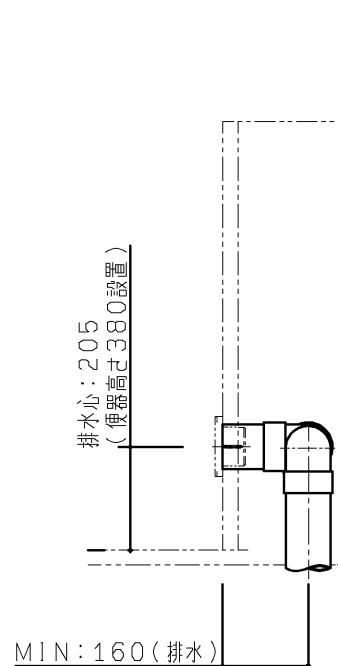
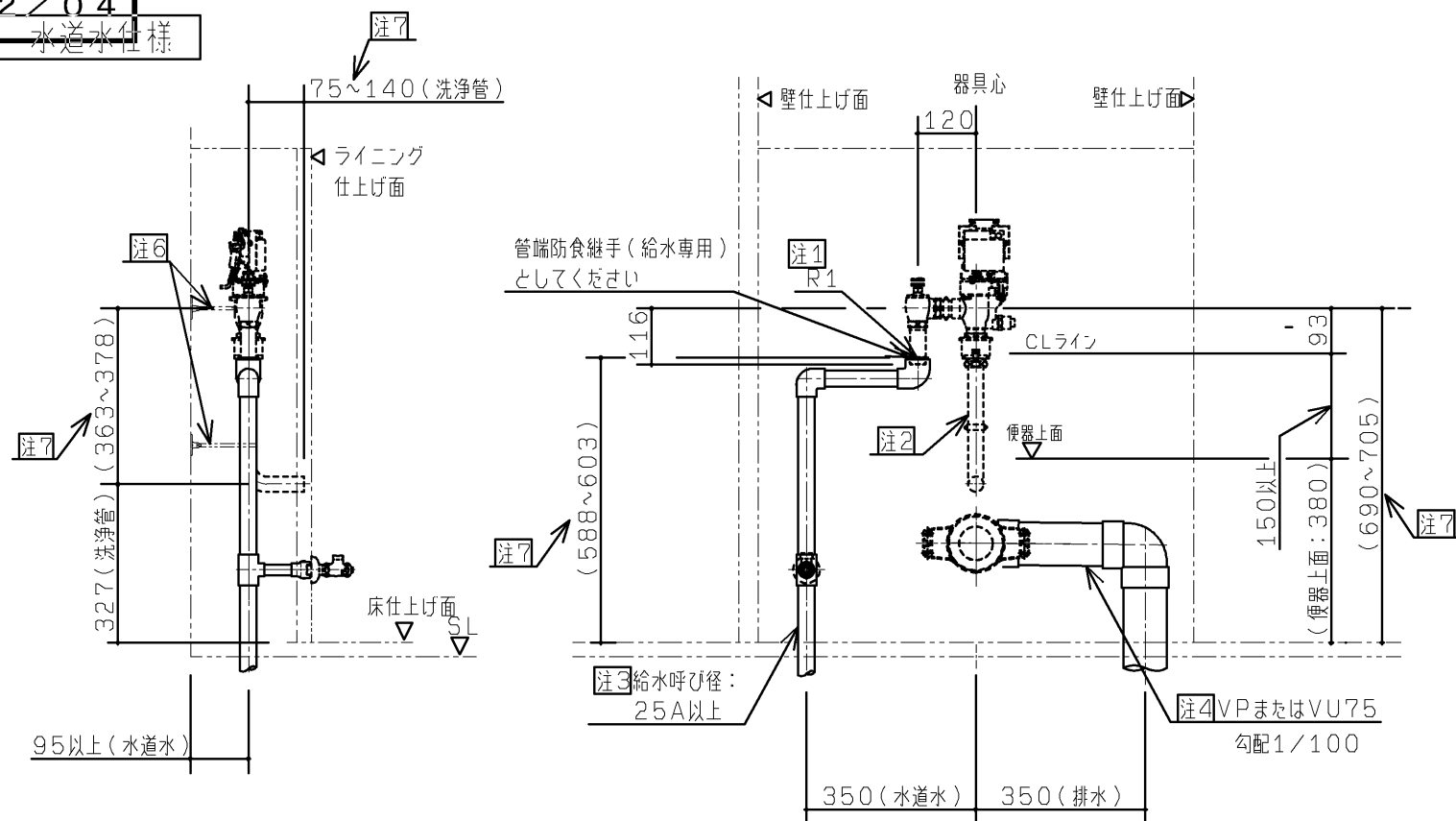
建築工事	注11：点検口（別途）は、施工時に給水スパッドの締付等の器具取付口を兼ねています。壁開口は左に示す寸法で必ず開けてください。 注12：排水フランジをタッピンねじで壁下地に固定する必要があるため、排水フランジ周りの下地は耐水合板（$t9.5\text{mm}$以上）としてください。
	注13：電源AC100V 50/60Hz VVF2×1.6mmを製品端子台に接続のこと 注14：信号線（10m、スイッチユニットに付属）埋め込み壁に事前に電線管を通しておきます。 注15：温水洗浄便座を使用する場合は温水洗浄便座に合わせた電源工事が必要です。 ※便座定格：使用する便座を確認の上設定してください。
電気工事	

		第三角法	単位 mm	名称 腰掛式壁掛大便器セット （水道水仕様／横引右排水／間仕切タッチスイッチ／右掃除口）	
製図 佐々木	検図 石大鈴 黒里木	日付 12. 12. 27	尺度 1：20	品番 UAXC1NRAR	
備考				図番	

生産中止図面（単独配管）

2012/04

水道水仕様

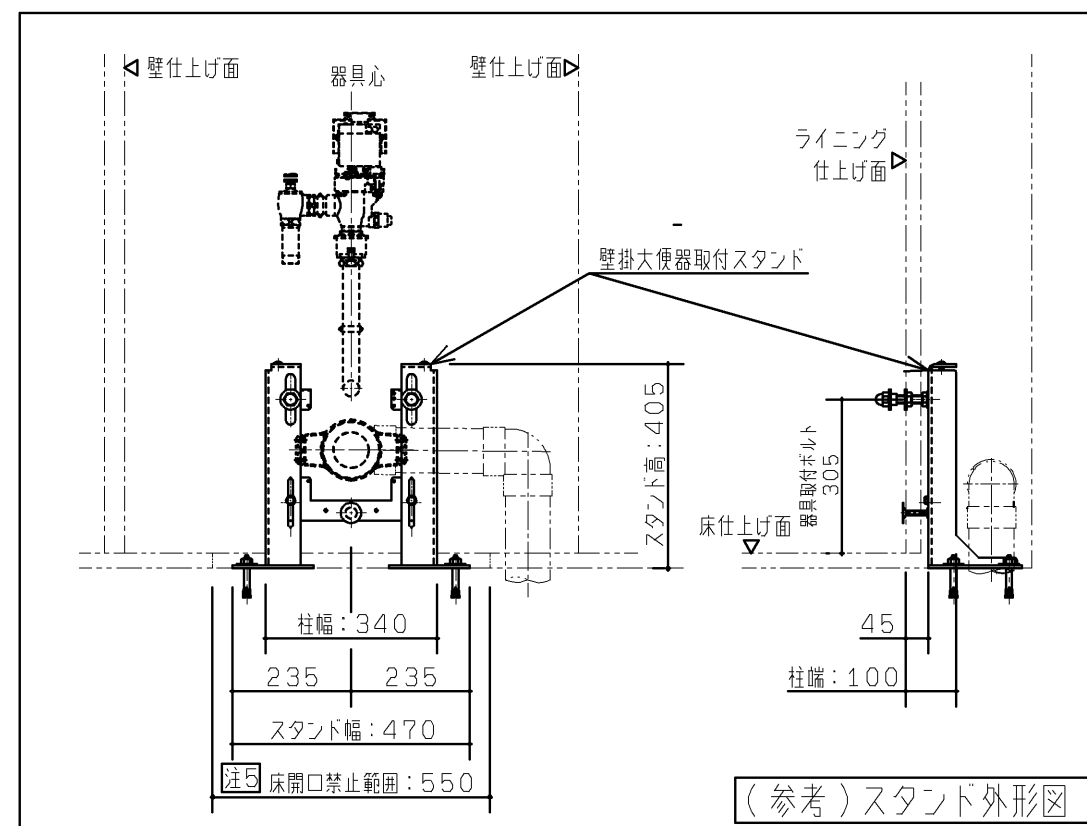
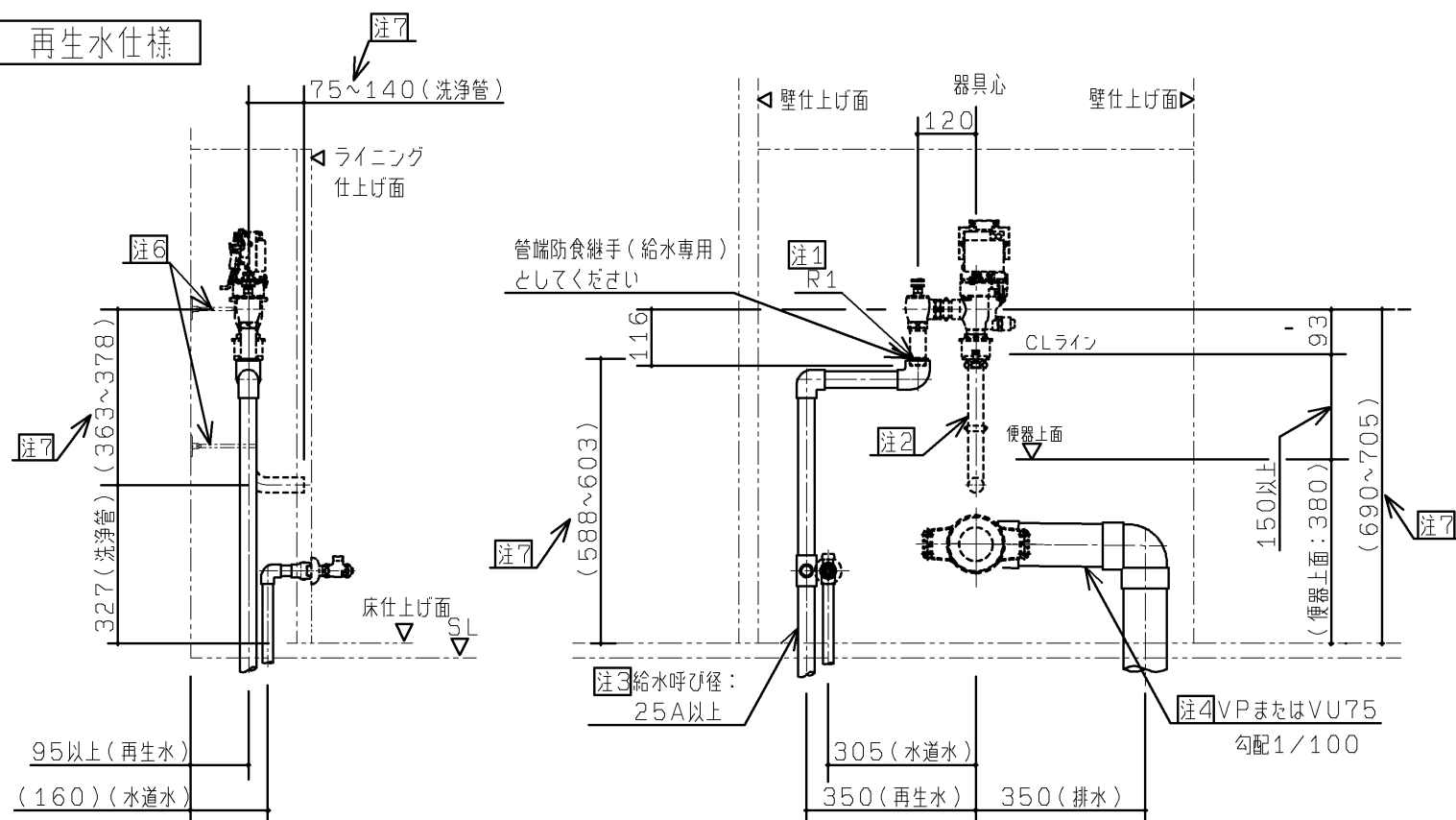


本図は、配管設置の一事例を示す参考図です。
使用する配管材によっては納まらないこともあります
ので、その際は立上げ位置を再設定してください。

- 注1: ねじサイズ R1 銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注2: 洗浄管: φ31. 75 (自動フラッシュバルブに含まれます)
注3: FV用の給水管径は25A以上としてください。
注4: 排水は末端の呼び径75で準備ください。
注5: 配管の立ち上げは、床開口禁止範囲
(スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲)を
避けた位置から取り出してください。
注6: 自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又は
LGSなどから支持を必ず取ってください。
参考: カクダイ (品番: 2211・2216) 相当品
注7: フラッシュバルブ同梱洗浄管の長さの範囲で接続可能範囲を
示しています。

- 注: 給水には最低必要水压 (流動時) 0. 07MPaを確保して
ください。(最高水压 (静止時) 0. 75MPa)
注: 壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを避ける
位置に配管を立ち上げてください。

再生水仕様



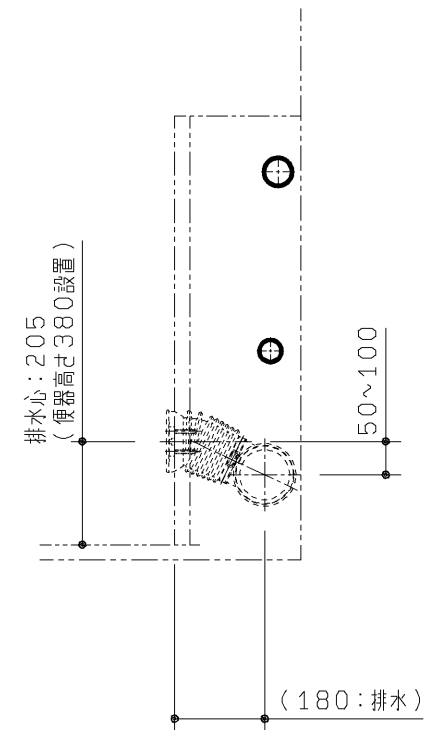
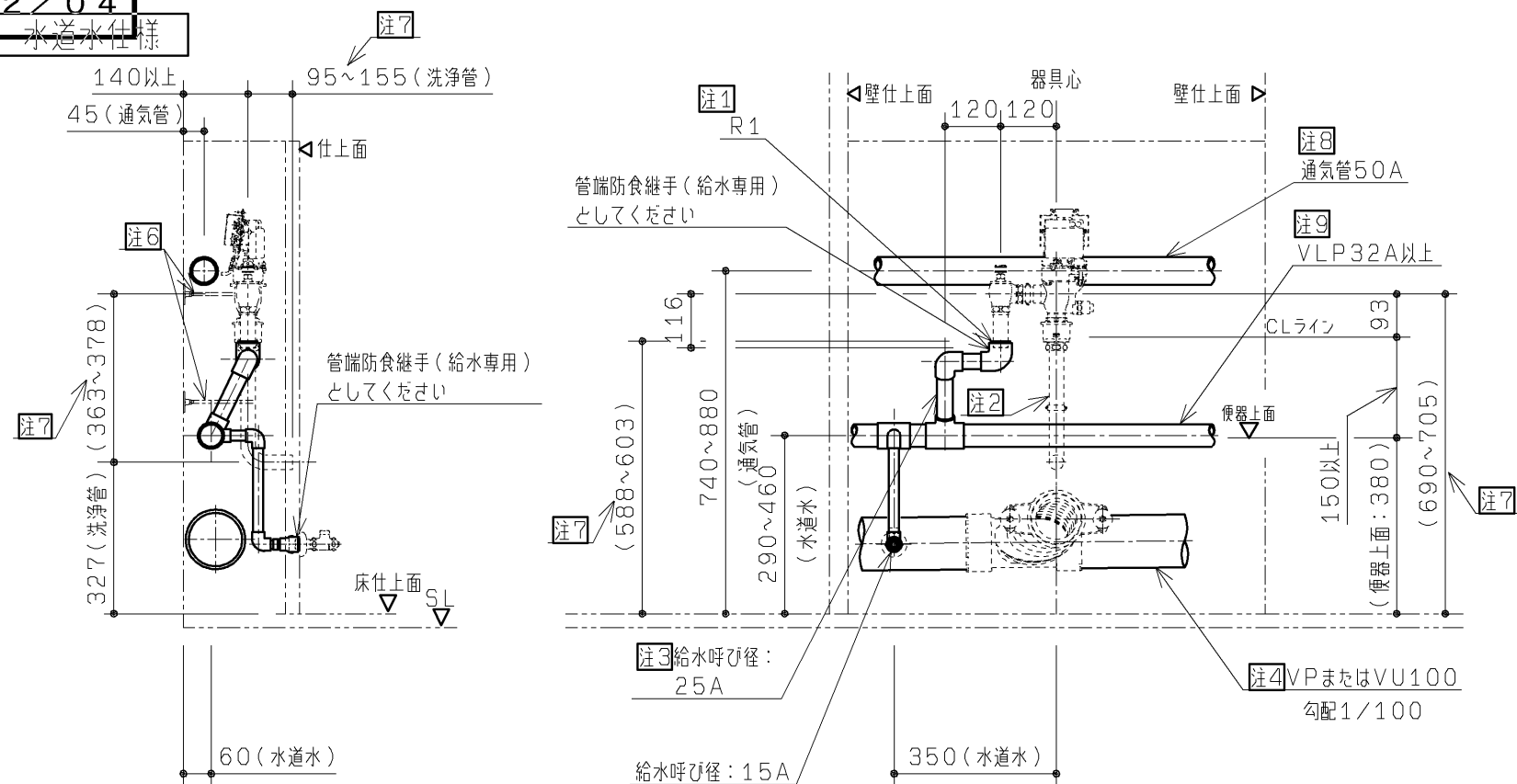
※壁掛大便器専用ライニングに設置する場合はWL給水取り出し位置が
異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

TOTO		第三角法	単位 mm	名称	壁掛6L大便器セット事前施工情報
製図 白井	検図 大里 鈴木	日付 12.10.19	尺度 1:15	品番	UAXC=11
備考 設備工事 (単独配管) (1/3)				図番	UAXC=11

生産中止図面（横引配管）

2012/04

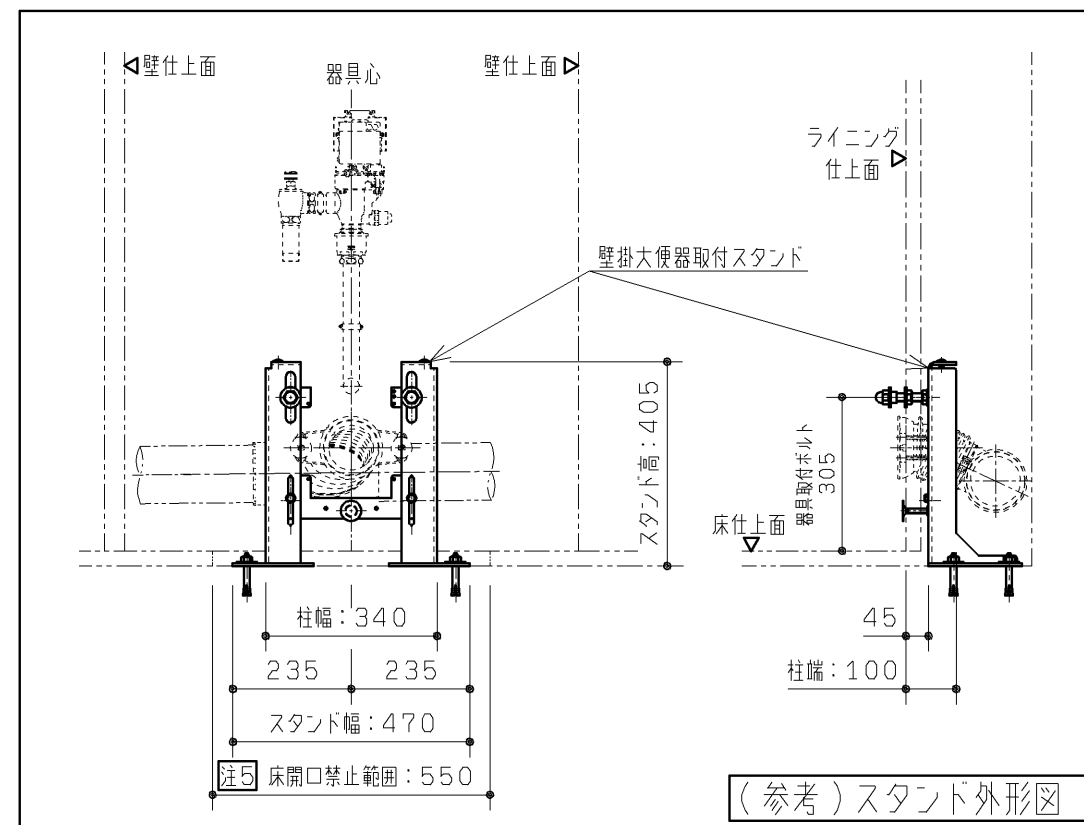
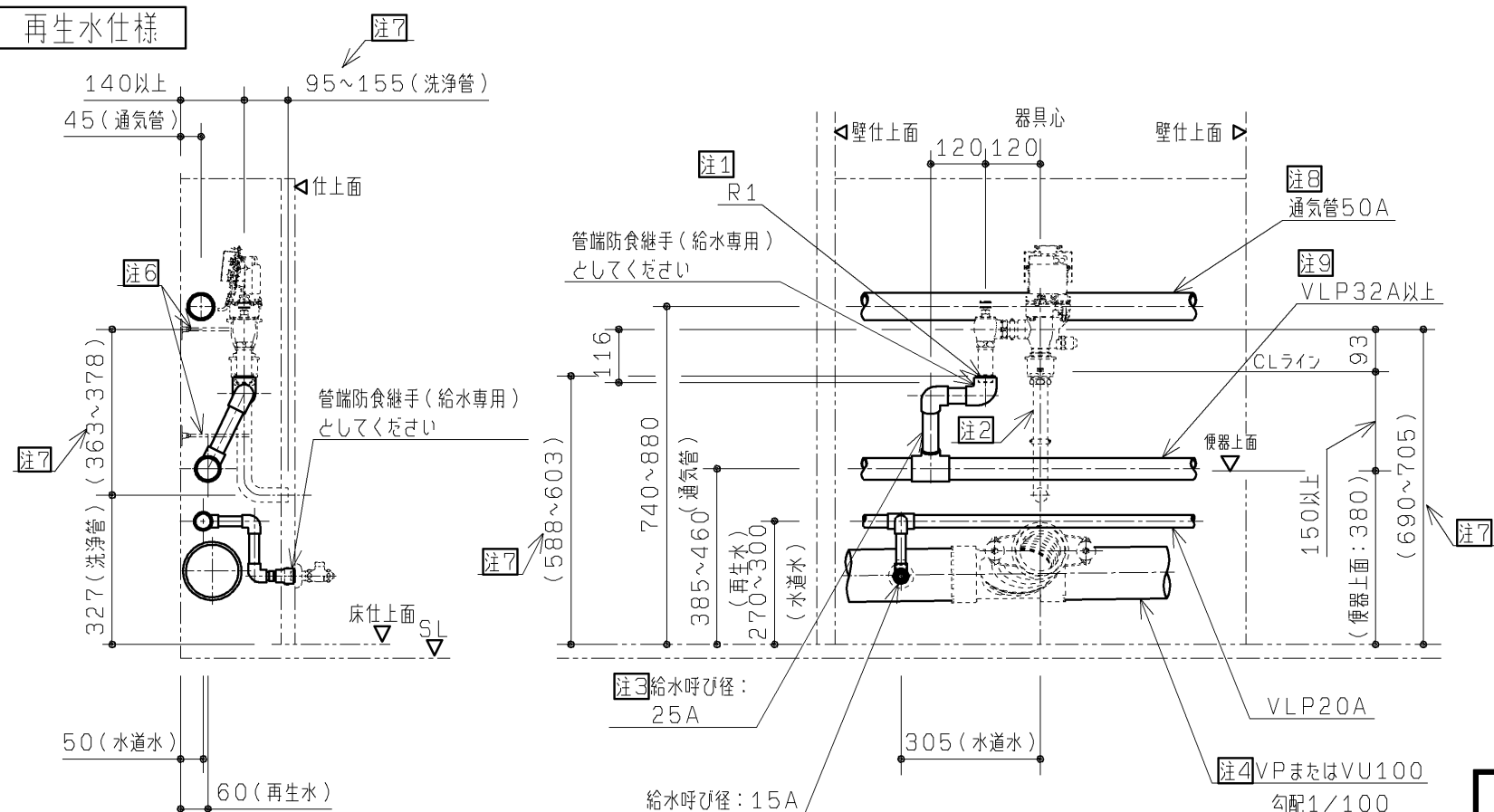
水道水仕様



本図は、配管設置の一事例を示す参考図です。
使用する配管材によっては納まらないこともあります
ので、その際は立上げ位置を再設定してください。

- 注1: ねじサイズ R1 銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注2: 洗浄管: φ31. 75 (自動フラッシュバルブに含まれます)
注3: FV用の給水管径は25Aとしてください。
注4: 排水は末端の呼び径100で準備ください。
注5: ライニング内から配管床抜く場合は床開口禁止範囲
(スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲)を
避けた位置から取り出してください。
注6: 自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又は
LGSなどから支持を必ず取ってください。
参考: カクダイ (品番: 2211・2216) 相当品
注7: フラッシュバルブ同梱洗浄管の長さの範囲で接続可能範囲を
示しています。
注8: 通気管と汚水管の接続は水上側の器具管で接続してください。
詳細は(3/3)参考図面を参照してください。
注9: 給水管呼び径は連数に応じて都度設計してください。1連横引きの
場合は、呼び径は25A以上としてください。
注: 給水には最低必要水压(流動時)0.07MPaを確保して
ください。(最高水压(静止時)0.75MPa)
注: 壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを避ける
位置に配管を立ち上げてください。

再生水仕様

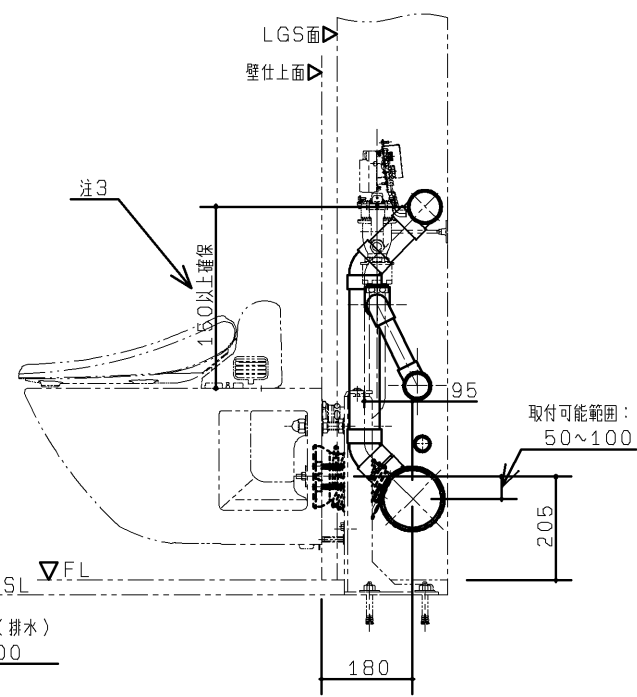
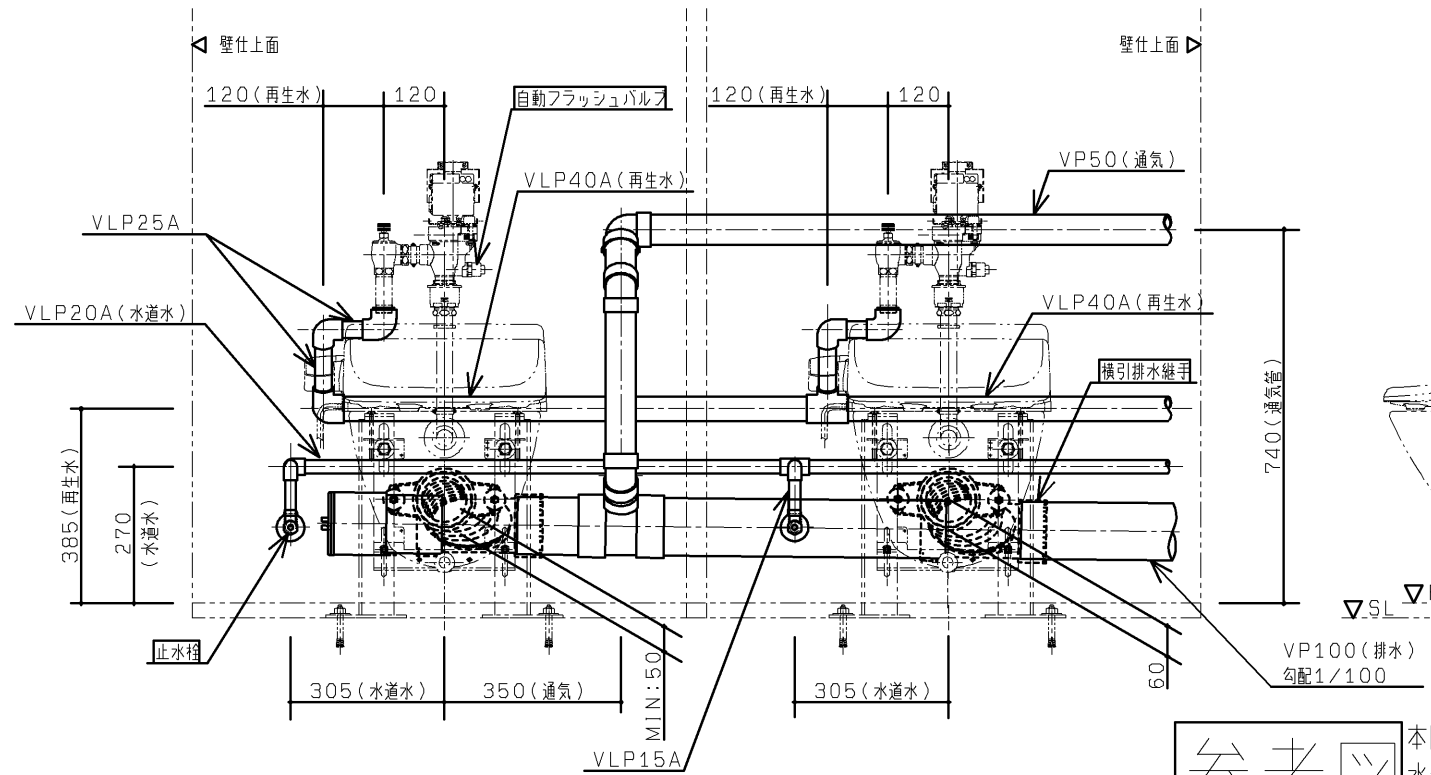
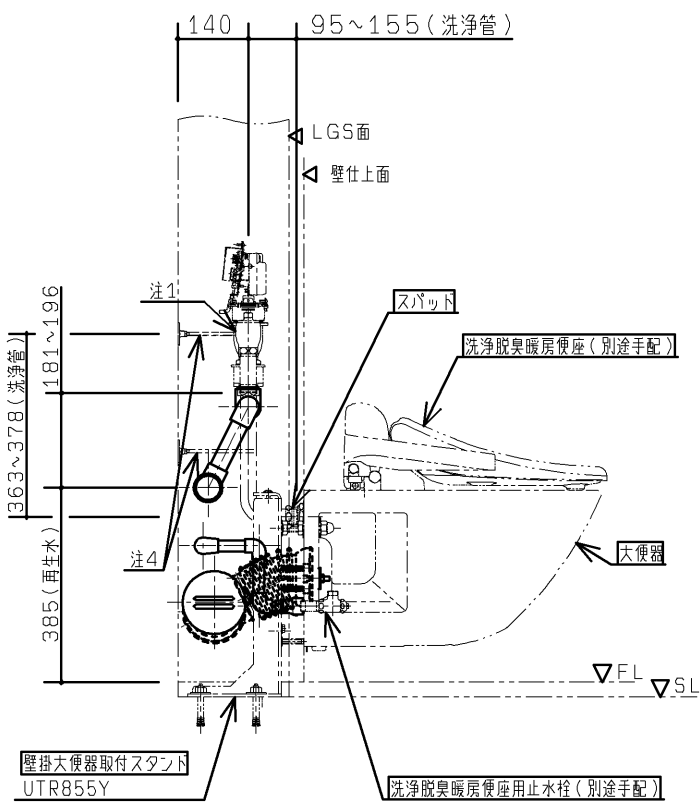
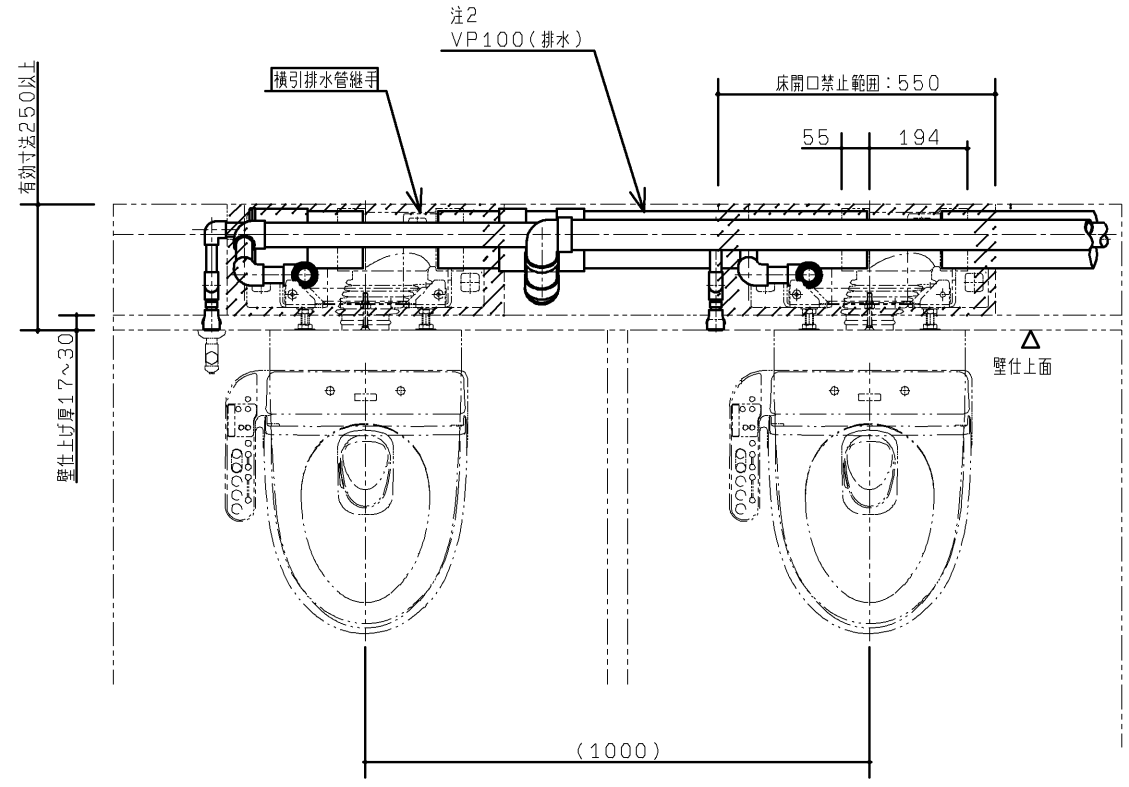
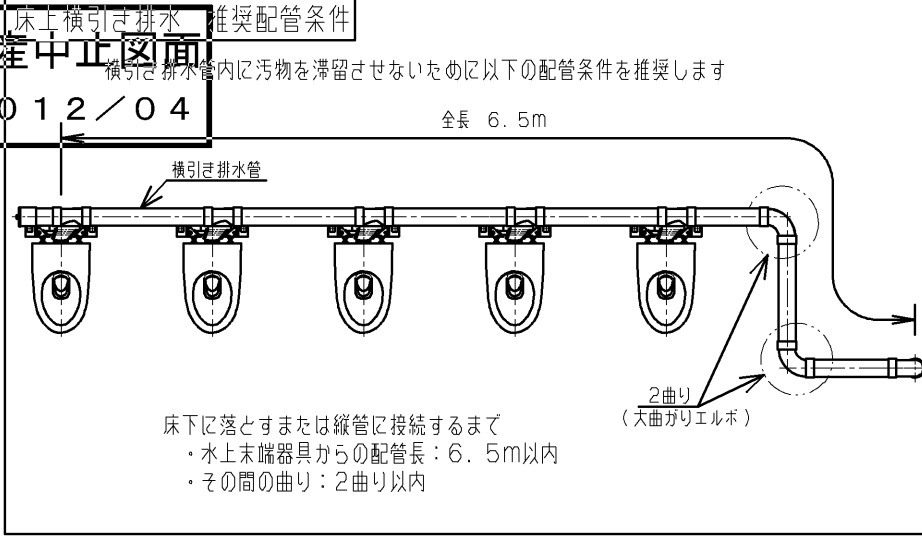


(参考) スタンド外形図

※壁掛大便器専用ライニングに設置する場合はWL給水取り出し位置が
異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

TOTO		第三角法	単位 mm	名称	壁掛6L大便器セット事前施工情報
製図 白井	検図 大里 鈴木	日付 13.04.30	尺度 1:15	品番	UAXC=12
備考 設備工事(横引配管) (2/3)				図番	UAXC=12

生産中止図面
2012/04



参考

本図面は再生水仕様での事例になります。
水道水仕様の場合は、本図を参考に設計してください。
WL用の横引き配管は必要ありません。

※壁掛大便器専用ライニングに設置する場合はWL給水取り出し位置が
異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

TOTO				第三角法	単位 mm	名称 壁掛6L大便器セット床上横引き配管例
製図 白井	検図 大里	鈴木	日付 12.10.19	尺度 1:15	品番 UAXC=13	
備考 設備工事(横引き配管) (3/3)						図番 UAXC=13